

和
2023

(発行者)保護者会へのご参加ありがとうございます。進路担当「森」です。宜しくお願いします。 2023. 4. 28(金)

『第1回 進路希望調査に寄せられたご質問』にお答えします。

先日は、「第1回進路希望調査」のご提出ありがとうございました。皆さんの進路希望状況を、概ね把握することができました。さて、今回の「進路だより」は、「第1回進路希望調査」で寄せられたご質問プラス、例年、多く聞かれるご質問に対する回答：特集号としてお届けいたします。

Q 1. 高校の学力基準（レベル）が知りたいです。（同様の質問多数）

A. これに関しては、個別への回答を基本とします。次のような観点から具体的にお答えできます。

公立高校・・・『入試当日どの程度の得点が必要か』『到達度試験でどれくらいの点数が合格の目安か』

私立高校・・・入試相談を実施する高校の場合は『通知表評定の基準値や、欠席日数等その他の条件』、

入試相談を実施しない高校の場合は、公立高校と同様です。

※現時点では、あくまで昨年度までの状況からの回答となります。特に『私立＝入試相談実施高校』の基準値については、前年度から変更になる場合もあります。（例年、9月頃までには確定し、発表されます。）

※個別対応が基本と書きました、生徒の皆さんも、保護者様もご遠慮なく個別に質問してください。具体的にご回答いたします。

追伸：質問の中で、高校や自分の学力レベルを「偏差値」と呼んでいる人が多いように感じました。一般的には、そのような使われ方をすることも多いようですが、本来「偏差値」の意味は次のとおりです。偏差値とは「50」を基準に、平均からどれくらい差があるかを表した数値のことを言います。つまりテストを受けた場合に、自分の得点が平均点と同じであれば、このテストにおける自分の偏差値は必ず「50」になるということです。

Q 2. 自分の学力レベルがどの程度なのかを知りたいです。

A. Q 1 の回答とも重なりますが、本校では5月から校内で実施する『到達度試験』を『受験校を決める材料（資料）』として活用していますので、そのテスト結果（点数）から、〇〇高校の合格の可能性（％）をお示しすることができます。現時点では2年生終わりに実施した『到達度テスト』で同様の目安をお示しする事ができますので、個別にお尋ねいただければお答えいたします。

Q 3. 初めて受験生をもつ親です。何もわからず不安です。（同様のご意見あり）

A. 本校では進路だより等を中心に、受験に関する情報提供を細かく丁寧に行なっていきますが、個人的なご質問やご相談がある場合には、その都度対応いたしますので、ご遠慮なくお問合せください。また、進路行事として保護者の方へ直接お伝えする機会は、6/13と10/3に予定されている進路説明会があります。是非ご都合をつけていただけるようお願いいたします。また、学校からの進路情報（配布文書も含）については、必ず保護者様へも伝わるよう、お子様との確認・連絡をお願いいたします。

Q 4. 志望している高校について、もっと詳しく知りたいです。どうしたらよいでしょうか。

A. 今の時代は、インターネットを活用するのが最も有効でしょう。各高校のホームページには、かなり細かく情報が掲載されています。更には、夏休みを中心に実施される『高校説明会』や「体験入学」等に積極的に参加することをお勧めします。（すでに説明会等の案内を発信している高校もありますよ。）

Q 5. 進路情報コーナーに掲示されていた「KADOKAWAまんがアカデミー高等部」について知りたい。

A. 概要のみ抜粋してお知らせします。「マンガ分野に特化した高等教育スクール」として来年4月開校予定。高卒資格の取得と合わせて3年間をかけて専門スキル（マンガ制作・イラスト等）を基礎から実践まで習得します。高校卒業資格は、『学校法人角川ドワンゴ学園S高等学校』と連携により取得します。今後「説明会」等も実施予定があるようです。詳細は学校ホームページをご参照ください。



Q 6. 今の自分の成績で『入れる高校あるのか?』心配です。

A. 「今の自分の成績で」と言うことですが、私立入試で9か月先、公立は10か月先です。この期間に「どれだけ頑張れるか」によって、君の成績は大きく変わるでしょう。従って、現時点で『入れる高校はあるのか?』という心配は不要でしょう。しかし、準備開始は早ければ早いほどよいですね。心配であるならば尚更です。できるだけ早く準備開始することをお勧めします。

Q 7. 千葉県公立高校に「推薦入試」はありますか？

A. ありません。2/20(火)・21(水)に実施される『一般入学者選抜検査』のみです。(2次募集は別です)

Q 8. 高校説明会や体験入学の申し込み方法は？



『進路だより 第2号』に掲載のとおりですが、改めて確認させていただきます。

A (1). 参加する場合、申し込みの方法は、主に3つのパターンとなります。

- ① 予約が必要(1)・・・各自(自分)で申し込む。(Webが大半、TEL、FAX等も有り) ※大半がこのパターンです。
- ② 予約が必要(2)・・・志津中でまとめて申し込む(担任から連絡。申込POSTに投函) ※ごく一部の高校です。
- ③ 予約は不要・・・申し込みや連絡の必要がありません。

A (2). 情報の提供および、情報収集の仕方は下記の3通りです。

- ① 中学校に案内が来た場合は全て『進路コーナー：廊下掲示』によってお知らせします(申込は各自で行う)
- ② 中学校を通して申し込む必要のある学校については、学級担任から直接連絡します。参加希望者は『参加申込票』をPOST(昇降口設置)に投函してください。

※志津中に案内が来ない高校もありますので、興味をもった高校については、積極的に情報を収集し申し込みましょう。人数制限等ある場合も多いので、早めの申し込みをお勧めします。

Q 9. 千葉県内で『調理系の学科』がある高校を知りたいです。

A. 公立では「佐倉東高校：調理国際科」の1校です。もう少し幅広く考え「家政科」であれば「千葉女子高校」「八千代高校」「木更津東高校」「館山総合高校」に設置されています。私立では「東京学館船橋高校：食物調理科」ぐらいでしょうか。



Q10. 『佐倉東高校：調理国際科』卒業後の進路を知りたいです。

A. 佐倉東高校のホームページを検索したところ、「進路実績等」というファイルの中で詳しく紹介されています。更には電話での問い合わせにも応じる旨の記載がありましたので、是非「佐倉東高校ホームページ」をご覧くださいはいかがでしょうか。

Q11. 千葉県内で『韓国語』が学べる高校はありますか？

A. 「成田国際高校：国際科」「松戸国際高校：国際教養科」「流山おおたかの森高校：国際コミュニケーション科」「柏井高校：普通科：国際コミュニケーションコース(2年次より選択)」「匝瑳高校：普通科：国際理解コース(2年次より選択)」あたりようです。詳しくは各高校のホームページを検索してみるとよいと思います。

Q12. 私立高校の『入試相談制度』について教えてほしい。

A. 千葉県私立高校の入試相談(12月実施)は、私立高校の9割以上で採用されています。基準値(通知表評定や欠席日数など)が定められており、その条件を満たした場合は、合格の可能性が極めて高くなる(概ね合格が約束される)制度です。専願(第一希望)、併願(第二希望～)によって基準値は変わります。

Q13. 千葉県内私立高校で『入試相談』を実施していない高校はどこですか？

A. 昨年度は「成田」「昭和秀英」「渋谷幕張」「千葉日大一」「専修大松戸」「市川」「麗澤」「芝浦工大柏」「日大習志野：ｽｰｯ推薦のみ実施」の9校が実施していません。



Q14. 受験勉強を始めたのですが、何から始めたらよいのでしょうか？

A. 率直な質問だと思います。実は私自身も約50年前、高校受験を前にして同じことを思いました。さて、この質問に関しては明確な回答を一つだけ、というのは実に難しいです。生徒個々の能力や得手不得手希望の種類などによっても変わってくると思うからです。しかし、今この時期に受験勉強を始めようとしたならば、「受験勉強＝中学1・2年で学習した内容の復習」と考えることだろうと思います。もう少し具体的なことを言うならば「夏休みの終わる頃までに、1・2年の復習を一回り終える」ことができれば、かなり有効ではないかと思います。更には1・2年の復習と言っても、学習した内容全てを復習するのではなく、身に付いていない(定着していない)事柄を中心に復習することです。そこで、1・2年生で学習した内容の内「わかっている内容・わかっている内容」を確認する作業も受験勉強の第1歩であると考えます。

今回は、14の質問に対してお答えしましたが、個人的なことを多く含む質問は掲載は見送りしましたので、担任の先生や森まで、ご遠慮なく質問をしてください。お答えさせていただきます。前述もしましたが、生徒の皆さんはもちろんですが、保護者様におかれましては、お子様を通じて担任まで、またはお電話やご来校等で森までお問い合わせいただくことも大歓迎です。お待ちしております。また、今回のご質問の中にはインターネットで検索すれば詳しく書かれていることも多くありました。生徒の皆さんは、「自分で調べてみる」という習慣も必要だと感じました。最後にひとつ余談です。「受験」と書く場合と「受検」と書く場合があることに気がついていましたか。一般的には「受験」という文字を使いますが、千葉県公立入試の場合は入学試験を「学力検査」と呼んでいるので、表記としては「受検」という文字を使っているのです。

Q 8. 看護師を目指していますが高校から看護科に行くか、高校は普通科でその後看護科のある上級学校（大学等）を目指すべきか悩んでいます。

A. 一概には言えません。「現在の看護師になりたいという気持ちの強さ」等状況によって変わってくると思うからです。一般論として回答すれば「将来看護師になりたいという気持ちが非常に強く、今後変わる可能性が少ない」ならば、高校から看護科へ進むこともよいと思いますが、今後の成長過程の中で、「希望が変わるかもしれない」と思うならば、高校卒業してから看護の道へ、でも決して遅くはありません。ちなみに高校の看護科は、「3年制：私立に多い」と「5年生：公立に多い」の2種類あります。高校の場合は5年間学ばないと「正看護師」の資格は取れません。3年間では「准看護師」までです。

Q 9. 私立高校の『Web出願』が不安です。大丈夫でしょうか？

A. 結論は・・・大丈夫です。私自身もIT（ネット関係）が大の苦手で、当初はとても不安でしたが、そんなに難しいことはありません。万が一ご家庭にインターネット環境（パソコンやスマホ）が全くない場合には、高校に直接出向いて出願の面倒をみてくれるようになっていきます。また中学校においても、秋以降、Web出願に関する具体的な連絡をさせていただきますのでご心配なく。

ただし、私立高校のWeb出願は『個人でおこなう』ことが大原則になりますので、各自（本人、保護者も含め）が出願方法や手順を十分に理解しておくことが必須です。

Q10. 私立高校の『メリット』『デメリット』を教えてください。

A. 個人による感覚の差もありますので、一概に申し上げるのは難しいですが、一般論として言えば。
メリット＝○施設・設備の充実度が高い。○公立に比べ特徴（力を入れていること等）を大きく打ち出しているケースが多い。○入試相談制度を実施している私立高校は合格の目安を把握しやすい。（安心して受験に臨める。） ○早い段階で進路決定する。（1月中旬）
デメリット ＝ ○費用が高い。（就学支援制度などにより、公立との差は以前より少なくなっていますが。）

Q13. 中学校では「受験対策の模擬試験」を実施しますか？

A. 志津中では『到達度試験』という名称で5回（5月・9月・10月・11月・1月）実施します。この試験は『受験校選択の資料』となるテストです。

Q14. 塾に行っていない。『S模擬』『V模擬』等、外部テストを受ける必要はありますか？

A. 模擬試験を受ける目的によると思います。受験校選択の資料とする目的ならば、中学校で5回、到達度試験を受けるので、それで十分です。他の目的があれば受験してもよいと思います。

今回は、14の質問に対してお答えしました。個人的なことを多く含む質問は掲載は見送りました。担任の先生や森まで質問をしてください。前述もしましたが、生徒の皆さんはもちろんですが、保護者様におかれましても、お子様を通じて担任まで、またはお電話、ご来校等で森までお問い合わせいただくことも大歓迎です。お待ちしております。最後にちょっと余談です。「受験」と書く場合と「受検」と書く場合があることに気がついていましたか。一般的には「受験」という文字を使いますが、千葉県公立入試の場合は入学試験を「学力検査」と呼んでいるので、表記としては「受検」という文字を使っています。

Q10. 『英語』に力をいれている高校を教えてください。

A①. 『力をいれている高校』という質問は難しいところですが、千葉県内近隣で「英語科」またはそれに類する学科を設置している高校は下記のとおりです。

公立高校・・・○成田国際(国際科) ○松戸国際(国際教養科) ○市立稲毛(国際教養科)

私立高校・・・○千葉英和(英語科) ○植草学園大付属(英語科) ○国府台女子学院(英語科)

A②. 『普通科』内に『英語コース』を設置している公立高校（近隣）

○若松(国際教養コース) ○柏井(国際コミュニケーションコース) ○犢橋(英語コース)

○市川東(英語コース)

A③. 『普通科』内に『英語関係のコース』を設置している私立高校（近隣）

○秀明八千代(国際英語コース) ○八千代松陰(AEM(英数特進)コース) ○昭和学院(IAコース)

Q12. 八千代高校入試、学校設定検査の『集団討論』ってどんなことをするのですか？。

A. 5～6のグループをつくり、与えられたテーマに沿って討論会を行う検査です。昨年度入試のテーマは『最近、活字離れが進んでいるようですが、電子書籍を利用することの是非について、理由を含めて自分の考えを述べなさい』でした。

Q13. 成田国際高校入試、学校設定検査の『自己表現』はどんな内容ですか？。

A. スピーチです。昨年度入試では、

(普通科) 高校の求める人物像に沿った中学校時代のエピソードを90秒でスピーチ。他に、中学校生活の一番の思い出、高校卒業後のなりたい人物像について質疑応答。

(国際科) 中学校で頑張ったこと。印象的だったこと。高校でやりたいこと。を日本語で、将来の夢について英語でスピーチ。トータルで5分以内。

※英語によるスピーチ、質疑応答が含まれるのが特徴です。

今回は、14個の質問に対してお答えしましたが、他にもかなり具体的な質問がありました。個人的なことも多く含むため、本誌掲載は見送りました。担任の先生、または森に直接質問をしてください。生徒の皆さんはもちろんですが、保護者様におかれましても、お子様を通じて担任まで、またはお電話等で森までお問い合わせいただくことも大歓迎です。お待ちしております。